



経済産業省 第四次産業革命スキル習得講座

JPCAものづくりアカデミー 電子回路製造プロセスデジタル人財育成講座

次世代工場長養成プログラム ～第12期受講生募集のご案内～

第一次募集期間

令和8年3月6日～5月15日（金）

第二次募集期間 5月18日～6月5日*

※第一次募集にて定員に満たない場合のみ、第二次募集を行います。

一般社団法人日本電子回路工業会

〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-12-2 回路会館2階

TEL. 03-5310-2020 FAX 03-5310-2021

電子メール：EESMAP@jpca.org

【経済産業省 第四次産業革命スキル習得講座認定制度】

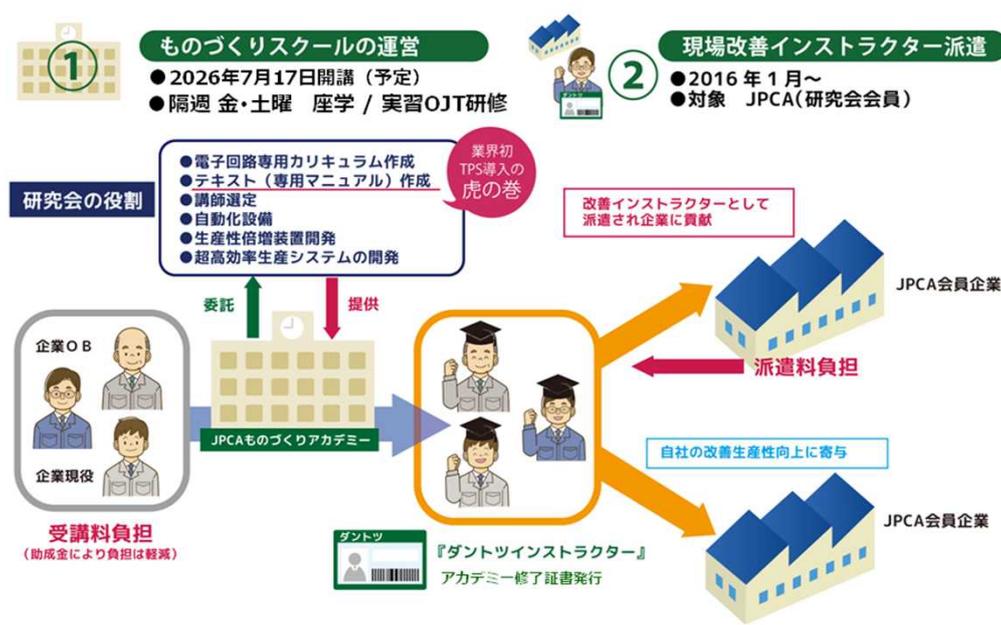
「第四次産業革命スキル習得講座認定制度」（通称：Reスキル講座）は、IT・データを中心とした将来の成長が強く見込まれ、雇用創出に貢献する分野において、社会人が高度な専門性を身に付けてキャリアアップを図る、専門的・実践的な教育訓練講座を経済産業大臣が認定する制度です。当JPCAものづくりアカデミーは第四次産業革命スキル習得講座に再認定され、専門実践教育訓練給付制度が利用できる「専門実践教育訓練講座」に厚生労働大臣より再指定されております。また厚生労働省「人材開発支援助成金」の「人への投資促進コース（高度デジタル人材訓練）」対象講座でもあるため従業員を受講派遣する事業主も助成金活用できます。

JPCAものづくりアカデミーの目的

一般社団法人日本電子回路工業会では、経済産業省の**第四次産業革命スキル習得講座**に再認定され、ものづくり改善指導・デジタルものづくり人財を養成する「**第12期JPCAものづくりアカデミー電子回路製造プロセスデジタル人財育成講座**」を開講いたします。

我が国電子回路業界は、生産革新を行い、国内外企業競争に打ち勝てる強い現場づくりや生産性を上げることができ、改善し続ける企業体質をつくり上げることが急務であります。その強い企業体質のレベルアップを図る為にはスキルの高い人財が必須であることから、本アカデミーでは、経営改善（圧倒的な“品質向上”、“リードタイム短縮”、“コスト削減”、“ムダ取り”等）のノウハウを身に付けて頂き、世界に負けないデジタルものづくり手法を習得頂くため、学术界連携のもと、経験豊富な講師陣の講義と実習により様々な手法を学んで頂くことで、電子回路企業での生産革新や改善指導活動への支援、リードオフできるものづくり改善指導人財を養成します。

受講者となる現役企業担当者は、自社のカイゼン活動における指導者になって頂きます。電子回路企業OB人財には、企業経営面での経験と過去に培った現場改善や指導力、保有されるチカラを本アカデミーでブラッシュ・アップ頂き、電子回路産業のカイゼン指導者になって頂きます。（第11期までに**258名**の**修了生**を輩出）



本アカデミーでは、ものづくりの重要性から紐解き、生産の流れや製造工程の流れでムリ、ムダのない「ものづくりの良い設計の良い流れ」理論と手法を身に付けることができる座学、本年度から新設のデジタルものづくり・生産シミュレーション講習や昨年度に引き続きプログラミング・ロボット実機操作講習やIoTと設備メンテナンス管理講習等と共に、実際に自社の製造現場において経験豊富なJPCA改善インストラクターが直接指導に何う現場実習OJT研修を行う実践的なものとなっており、体感的に生産革新、次世代工場長が学ぶべきことを網羅できます。

なお、本アカデミー修了者（企業OB/OB相当者）については、別途計画している現場改善インストラクター派遣事業への展開が予定されており、電子回路企業の生産革新や改善支援活動への支援チームとして、電子回路業界のカイゼン支援のご協力を頂くことがございますことを予めご了承願います。

Reスキル講座 開講内容

【受講期間】 令和8年 7月17日（金）～12月中（予定）
13日間（座学講義12日間は10月3日（土）仮修了・受講生個別現場
実習OJT研修2講座1日間）

【場 所】 回路会館 会議室（東京都杉並区西荻北3-12-2）

【募集定員】 30名（同一企業からの受講人数制限はありません。但し同一事業所からは最大2名迄。）

【募集対象】 ①電子回路企業に勤務し、生産現場の管理や改善に携わっている
（または携わる予定のある）企業の現役社員・将来の工場長候補
②電子回路製造現場の経験豊富なOB

【受講料】 JPCA非会員企業（一般現役/OB等） 50万6千円（税込）
JPCA会員企業（現役/出身OB等） 45万1千円（税込）
E-ESMAP研究会会員企業（現役/出身OB等） 39万6千円（税込）

※別途、受講必須テキスト・実習教材費7万9千2百円（税込）が必要となります。

【主 催】 一般社団法人日本電子回路工業会



お申込みにあたり

第四次産業革命スキル習得講座である当JPCAものづくりアカデミーは、**厚生労働省の「専門実践教育訓練給付制度」の対象講座**になっております。一定の要件を満たした

受講生に、**支払った教育訓練経費（教材費含む）70%が支給**される制度です。

制度や手続きについては以下のページをご参照下さい。

■制度の概要について：教育訓練給付制度（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html

■手続きや申請について：ハローワークインターネットサービス

https://www.hellowork.mhlw.go.jp/insurance/insurance_education.html

また、**事業主が助成**される**厚生労働省の「人材開発支援助成金制度」**である**「人への投資促進コース（高度デジタル人材訓練）」**の対象講座にもなっています。一定の

要件を満たす企業（事業主）に、**支払った受講経費の** 中小企業**75%**、大企業**60%**まで（共に金額上限有）と**賃金助成**される制度です。詳細はHPをご覧ください。

■事業主の方のための雇用関係助成金：人材開発支援助成金（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

【受講申し込み方法】

◆第1次申込期限 令和8年5月15日（金） 必着（定員未達の場合のみ第二次募集実施）

◆申込方法

所定の申込に必要事項を記載の上、日本電子回路工業会へ郵送ご提出下さい。

<必要書類> ・**申込書**（JPCAホームページよりダウンロードしてご利用下さい）
・会社案内（現役の方のみ）

◆受講料のお支払い

受講申込受理後にご請求申し上げますので、**開講7日前**までに所定口座へお振込み下さい。

【お問い合わせ先】

一般社団法人日本電子回路工業会（担当：穴戸）

〒167-0042 東京都杉並区西荻北3-12-2 回路会館2階

TEL. 03-5310-2020 FAX 03-5310-2021 電子メール：EESMAP@jpca.org

第12期 JPCAものづくりアカデミー 電子回路製造

1日目 7月17日 (金) 10:00~ 17:00	開講式～業界の経営環境と生産性向上の意義	山本治彦 (校長/E-ESMAP特別顧問)
	良い設計の良い流れ	山本治彦 (校長/E-ESMAP特別顧問)
	ものづくりの基礎概念	山本治彦 (校長/E-ESMAP特別顧問)
	競争力と企業パフォーマンス	山本治彦 (校長/E-ESMAP特別顧問)
2日目 7月18日 (土) 10:00~ 17:00	エレクトロニクス産業の将来を考える～ものづくり競争戦略 (特別講義)	藤本隆宏 (早稲田大学教授・東京大学名誉教授/MKNものづくり改善ネットワーク代表理事)
	現場の人づくりとカイゼンの会計学 労働生産性とは何か	田中正知 (ものづくり大学名誉教授/Jコスト研究所代表取締役)
	小ロット生産と中国工場生産の損得 地球規模の売り買い	田中正知 (ものづくり大学名誉教授/Jコスト研究所代表取締役)
	部分最適から全体最適 原価とリードタイムの関係	田中正知 (ものづくり大学名誉教授/Jコスト研究所代表取締役)
3日目 7月31日 (金) 10:00~ 17:00	経営指標と現場改善取り組み手順 (特別講座)	石川雅昭 (副校長/E-ESMAP代表幹事)
	現場改善導入の実践 考え方の概要	齋藤光昭 (JPCA現場改善インストラクタ)
	標準作業のつくり方「標準3票と時間観測」	齋藤光昭 (JPCA現場改善インストラクタ)
	標準作業の作成手順と工程別能力表の活用、「標準作業組合せ票・標準作業票」の作成 (演習)	齋藤光昭 (JPCA現場改善インストラクタ)
4日目 8月1日 (土) 10:00~ 17:00	電子回路品質保証の在り方	三宅良彦 (特級 / 一級プリント配線板製造技能士 (設計))
	良い流れづくりの実践「ものと情報の流れ図 (VSM) 作成演習」	小川均 (元FICT・富士通OPT/E-ESMAP研究会幹事)
	良い流れづくりの実践「ものと情報の流れ図 (VSM) 作成演習」	小川均 (元FICT・富士通OPT/E-ESMAP研究会幹事)
	改善ツール「山積み票」活用技術 (演習)	小川均 (元FICT・富士通OPT/E-ESMAP研究会幹事)
5日目 8月21日 (金) 10:00~ 17:00	デジタルものづくりの活用 (特別講座)	山本治彦 (校長/E-ESMAP特別顧問)
	現場作業を分析する～IEの基礎と活用・IE手法を展開し、生産性向上を実現する (ピンボード演習)	伊藤雄三 (NPO法人 ワイ・リサーチ・イノベーション代表理事)
	作業の無駄を排除する～作業改善で原価低減へ	伊藤雄三 (NPO法人 ワイ・リサーチ・イノベーション代表理事)
	デジタル技術進捗による変化～デジタル・DX化には、IEの視点が重要～	伊藤雄三 (NPO法人 ワイ・リサーチ・イノベーション代表理事)
6日目 8月22日 (土) 10:00~ 17:00	DXによる日本電子回路製造業の競争力強化～IEとDX (AI) の融合は企業のDX成功の要件 (特別講義)	一力知一 (京都女子大学客員教授)
	良い職場、よい人間関係～TWI-JR 人の扱い方	成沢俊子 (ピーキューブ ^株 代表取締役社長)
	TWI-JM 改善の仕方	成沢俊子 (ピーキューブ ^株 代表取締役社長)
	TWI-JI 仕事の教え方	成沢俊子 (ピーキューブ ^株 代表取締役社長)

※特別講座は、電子回路業界固有・特有のものづくり改善課題に対応した講座となります。

※特別講義は、ものづくり国内外トレンド、要素・生産技術動向等のより広いテーマ講義となります。

※ピンク網掛は、デジタルものづくり講座となります。

プロセスデジタル人材育成講座カリキュラム（予定）

7日目 9月4日 (金) 10:00~ 17:00	電子回路基板の出口戦略とデザイン・イン（特別講座）	斉藤和正（元日立国際/実装彩科代表）
	ロボットの基本操作プログラミング基礎	星金伸幸（川崎重工業ロボットディビジョン）
	ロボット手動操作～自動運転までの流れ	星金伸幸（川崎重工業ロボットディビジョン）
	作業シミュレーション等各種機能（実機操作演習）	星金伸幸（川崎重工業ロボットディビジョン）
8日目 9月5日 (土) 10:00~ 17:00	グローバル時代の日本のものづくり（特別講義）	新宅純二郎（明治大学経営学部特任教授・東京大学名誉教授/JPCAものづくり大賞審査委員長）
	TPMとIoT（保全管理の弱点を見抜く力を育成する）	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
	計画保全の設計能力構築とデータ解析・故障要因分析、IoTによる現状改善	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
	IoTによる設備保全必要要件の設計フィードバック能力構築	小林洋（設備管理学会・スマートメンテナンス研究会主査/日産自動車EL）
9日目 9月18日 (金) 10:00~ 17:00	3次元・部品内蔵基板最新動向 設計・解析シミュレーションとIoTアプリケーション（特別講義）	加藤義尚（福岡大学客員教授）
	生産シミュレーションの活用と基本操作	大久保寛基（東京都市大学教授）
	生産シミュレーションの基本操作I（演習）	大久保寛基（東京都市大学教授）
	生産シミュレーションの基本操作II（演習）	大久保寛基（東京都市大学教授）
10日目 9月19日 (土) 10:00~ 17:00	ものづくり管理会計①：易しい決算書入門から原価管理の基礎まで	柘紫乃（愛知工業大学経営学部教授）
	ものづくり管理会計②：企業経営におけるお金の「良い流れ」とは	柘紫乃（愛知工業大学経営学部教授）
	現場改善会計①：現場改善効果を見える化する（現場DX デジタルデータが改善を変える）	柘紫乃（愛知工業大学経営学部教授）
	現場改善会計②：余剰生産能力を活用する（現場DX デジタルデータが改善を変える）	柘紫乃（愛知工業大学経営学部教授）
11日目 10月2日 (金) 10:00~ 17:00	デジタルものづくりに向けた電子回路基板生産プロセス演習生産シミュレーション入門（入門編）	大久保寛基（東京都市大学教授）
	デジタルものづくりに向けた電子回路基板生産プロセス演習生産シミュレーション入門（応用編）	大久保寛基（東京都市大学教授）
	デジタルものづくりに向けた電子回路基板生産プロセス演習生産シミュレーション入門（実践編）	大久保寛基（東京都市大学教授）
	自動化・ロボット/生産シミュレーション活用生産性向上の考察	小島史夫（元早稲田大学客員教授（デンソー生産革新センターEA）/E-ESMAP幹事）
12日目 10月3日 (土) 10:00~ 17:00	IoTデジタル化によるロスゼロ生産の進め（特別講義）	福田好朗（法政大学名誉教授/E-ESMAP諮問委員）
	デジタルものづくりに向けたIoT演習（入門編）	小島史夫（元早稲田大学客員教授（デンソー生産革新センターEA）/E-ESMAP幹事）
	デジタルものづくりに向けたIoT演習（応用編）	小島史夫（元早稲田大学客員教授（デンソー生産革新センターEA）/E-ESMAP幹事）
	デジタルものづくりに向けたIoT演習（実践編）	小島史夫（元早稲田大学客員教授（デンソー生産革新センターEA）/E-ESMAP幹事）
13日目 10月13日 ~12月中 午前・午後 2講座	受講生所属現場での現場改善実習OJT研修を実施 I	山本治彦（校長/E-ESMAP特別顧問）/石川雅昭（副校長/ESMAP代表幹事）
	受講生所属現場での現場改善実習OJT研修を実施 II	齋藤光昭/小川均他（JPCA現場改善インストラクタ）

講師 (概論・手法)	プロフィール
山本 治彦 (アカデミー校長)	 <p>JPCA顧問/超高効率電子回路生産システム (E-ESMAP) 研究会特別顧問 (アカデミー校長) 富士通生産技術本部長のおり、岩城宏一氏にTPSの指導を申し入れ、富士通での指導会 (関係5社) を開始。その後富士通ICT (現、FICT(株): 電子回路基板製造業) 社長として7年間、特別顧問として3年間岩城氏に指導を受ける。JPCA会員中小企業経営者に経営者の現場改善に対する心構え等を指導、MKN「第2回ものづくりシニア塾」入塾受講し、全国唯一の工業会主催カイゼンスクール開講に尽力。</p>
藤本 隆宏 (特別講義講師)	 <p>早稲田大学大学院経営管理研究科 (ビジネススクール) 教授。東京大学名誉教授。(一社)ものづくり改善ネットワーク代表理事。1979年東京大学経済学部卒業、三菱総合研究所入社、1984年ハーバード大学ビジネススクール博士課程入学、1989年博士号取得、現職。東大ものづくりインストラクター養成スクールやものづくり地域スクール開講を実現。</p>
田中 正知	 <p>元トヨタ自動車工業(株)生産調査部長。ものづくり大学名誉教授。東京大学大学院経済学研究科MMRC 特任研究員。株式会社Jコスト研究所を設立。現場改善コンサルティングに従事。</p>
石川 雅昭 (アカデミー副校長)	 <p>JPCA理事/超高効率電子回路生産システム (E-ESMAP) 研究会代表幹事 (アカデミー副校長) 日本オイルシール工業株式会社 (現、NOK(株)) 入社、東京支店長電子部品営業部長を経て、2007年より日本メクトロンに取締役営業本部長として転籍。12年常務執行役員生産本部長、14年より中国蘇州現地総経理、董事長を歴任。16年に帰国、専務取締役就任、相談役を経て、現在、JPCA会員次世代若手経営者育成に尽力。MKN「第10回ものづくりシニア塾」入塾、JPCAアカデミー継続開講に尽力。</p>
齋藤 光昭	 <p>JPCAものづくり改善インストラクタ。日本オイルシール工業株式会社 (現、NOK(株)) にて、フレキシブルプリント配線板 (電子回路基板) 製造専門会社をはいじめとするグループ各社への改善指導・人材育成業務に従事し、業界OBとしてJPCA会員中小・中堅企業への現場改善指導を実施中。</p>
三宅 良彦	 <p>プリント配線板製造 (設計) 1級/特級技能士。ソニーにて映像機器の版下設計、製造技術、環境管理物質管理、信頼性・品質保証業務に従事後、伊原電子工業にてプリント配線板の製造技術、信頼性・品質保証業務に従事。2012年よりJPCAにて規格標準化、人材育成の検定制度構築、ダントツ推進事業に従事。退職後、電子回路技術コンサルタントとして活動。新人教育ぶりんとばんじゅく講師</p>
小川 均	 <p>JPCAものづくり改善インストラクタ。電子回路業界でトヨタ生産方式を導入実践している富士通インターコネクトテクノロジーズ株式会社を経て富士通オプティカルコンポーネッツ株式会社製造統括部所属後、退職。工程内カンバンによる後引き、JIT供給、工程平準化生産 (指定席後引き生産) 等を実践し、物と情報の流れ図指導を得意とする。</p>
伊藤 雄三	 <p>1982年米国系メンブランフィルター精密ろ過・精製機器の日本法人設立メンバーにて入社。工場経営、システム全般、Lean生産の実践を行い最終職位代表取締役社長。2014年「ものづくり夢みらい研究所」を設立、全国のものづくり人材育成スクールにて講師担当。2017年産学官連携NPO法人「YRI」代表理事、2018年～2022年山形大学教授兼任。ものづくりシニア塾第1期生。専門は、経営全般、リーン生産方式、品質管理、管理会計、ITシステムなど広範囲にわたる。</p>
一力 知一 (特別講義講師)	 <p>1999年松下電器(現パナソニック)入社以来、DBシステム開発、工場オペレーション(製造系基幹システム導入PJ)、経営企画、IoTによるスマートファクトリー構築等幅広い職務に従事し豊富な経験と専門スキルを保有。経営効果に必要な複数視点からの取り組みを実施。現在はIEとDXの融合によるデジタル駆動型経営オペレーション構築新規事業を立ち上げ、2022年よりパナソニックコネクティブにおいてエバンジェリストおよびコンサルタントのリーダーとして事業を牽引中。2022年より京都女子大学データサイエンス学部客員教授。</p>
成沢 俊子	 <p>ピーキューブ(株) 代表取締役。NEC勤務時代にトヨタ生産方式に学んだ生産性改善活動に携わり、PEC・山田日登志氏に師事。金融庁、PECを経て、企業への改善支援の傍ら日米技術交流史を研究。いくつかの「リーン本」の翻訳のほか、デミング博士著「危機からの脱出」の初訳を担当した。TWIトレーナーとしても国内各地でトレーニングを実施中。</p>
斉藤 和正 (特別講座講師)	 <p>PWBコンサルタント。有限会社実装彩科代表取締役。日立国際電気にて公共機器・システム用電子回路基板の設計基準・生産技術、品質保証及び基板・材料の海外調達を推進。現在は国内外電子回路基板製造業サプライチェーン全体のビジネスコンサルティングに従事。</p>
星金 伸幸	 <p>川崎重工業(株)ロボットディビジョン営業統括部ソリューション営業部 営業一課課長。1999年東京マシン・アンド・ツール(株)入社、プリント配線板の設備・資材の販売業務に従事。2007年に川崎重工業(株)入社、ロボットディビジョンにてロボットによる自動化の販売業務に従事。E-ESMAP研究会経営者勉強会や電子回路基板業界における現場作業の変革をテーマとしたウェビナー講義等ロボット自動化の普及に活動中。</p>
新宅純二郎 (特別講義講師)	 <p>明治大学経営学部特任教授、東京大学名誉教授・前東京大学ものづくり経営研究センター研究長。(一社)ものづくり改善ネットワーク代表理事。東京大学経済学部経営学科・同大学院経済研究科博士課程卒。学習院大学経済学部助教授、東京大学経済学部教授を経て現職。経済学博士。研究テーマは経営戦略と技術革新、ものづくり国際経営。</p>
小林 洋	 <p>1980年日産自動車入社。新車・新規設備開発から導入、維持管理業務、設備信頼性改善源流対策の仕組み構築、保全業務のグローバル標準化、工場の稼働状況の見える化ツールの開発とグローバル展開、稼働率向上活動を推進。また、社外活動では、日本設備管理学会にて設備管理の普及、標準化、IoT活用設備診断技術開発を推進中。</p>
加藤 義尚 (特別講義講師)	 <p>福岡大学客員教授。エレクトロニクス実装学会監事。電子回路材料、電子回路基板メーカーの技術開発部門に長年従事し、社内及び公的機関において、プリント配線板製造、実装プロセスに関する講義からものづくり人材育成講座講師などを多数歴任。部品内蔵基板や3次元半導体実装、モジュール開発技術研究、オープン型ネットワークでの情報共有に努める。</p>
大久保寛基	 <p>東京都市大学知識工学部経営システム工学科准教授。早稲田大学理工学部工業経営学科卒。2005年同大学院理工学研究科機械工学専攻経営システム工学専門分野博士 (工学) 取得、現在に至る。現在の研究テーマは、生産性向上のために生産システムや流通システムにおける新たな管理技術探求。</p>
柊 紫乃	 <p>愛知工業大学経営学部経営学科教授。お茶の水女子大学文教育学部史学科卒。2009年経営情報科学博士 (愛知工業大学経営情報科学研究科) 専門は、ものづくり管理会計、人材育成、地域連携等。トヨタ生産システムと業績数値の関係等を研究中。</p>
小島 史夫	 <p>一般社団法人 Lean MONOZUKURI Network Japan (ALMO-J) 代表理事。株式会社デンソーテクニカルアドバイザー。元早稲田大学客員教授、工学博士。工程開発・生産システム開発に従事し、生産技術から新工法電子回路基板の開発や電子回路生産プロセスの自動化、ロボット活用研究、リーンオートメーションを提唱指導。</p>
福田 好朗	 <p>法政大学名誉教授。主な研究分野は、生産現場力を育てる生産システム設計、シミュレーション・システム、設備管理、工程設計。中央大学卒業後、機械振興協会入職。89年工学博士 (神戸大学)。96年より法政大学工学部教授、同デザイン工学部システムデザイン学教授、常務理事、副学長グローバル教育センター長を歴任。ALMO-J副代表理事</p>